

■服部之総 歴史学者。マルクス主義による維新史研究に先鞭、戦時には沈黙、〈敗戦〉直後に集中的活動するも、早世。

はっとりしろう

田中正造直訴1901＝ 島根県木田の真宗寺院住職の長男に生まれた。

日露戦争終・1905＝ 4歳：

韓国併合・・・1910＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝11歳：

ベル仁条約・1919＝18歳：

原敬首相暗殺1921＝20歳：

東大文学部社会科学科在学中から社会的関心を深め、

治安維持法・1925＝24歳：

卒業し、

東洋大学講師を経て、

金融恐慌・・・1927＝26歳：野坂参三の産業労働調査所所員となり、

共産党事件・1928＝27歳：*「明治維新史」を発表、マルクス主義史学による維新史研究に先鞭をつけ、華々しくデビューした。

世界恐慌・・・1929＝28歳：_「中央公論社」に入り、初代出版部長となる。

満州事変・・・1931＝30歳：_辞職して、プロレタリア科学研究所に入り、「日本資本主義発達史講座」の執筆陣に参加、

五一五事件・1932＝31歳：_唯物論研究会の創立に当たり、

国際連盟脱退1933＝32歳：_「明治維新史」を刊行し、幕末の日本を厳密な意味でのマニファクチュア時代と指定する新学説でコペルニクスの転回をもたらし、労働派の土屋喬雄との間でマニファクチュア論争するが、当局の圧力が高まって執筆が困難となり、

二二六事件・1936＝35歳：_*「花王石鹸」の依頼を受け、初代社長長瀬富郎伝と同社五十年史の編纂に従事して、

日中戦争始・1937＝36歳：

健保+総動員 1938＝37歳：_同社に入社し、宣伝部長となる。

日米開戦・・・1941＝40歳：

・・・・・・1942＝41歳：社用のため中国に渡るが、

敗戦・・・・・・1945＝44歳：_〈敗戦〉を迎え、辞職して歴史学界に復帰。

新憲法公布・1946＝45歳：_「黒船前後」。*三枝博音らと鎌倉アカデミアを開くとともに、精力的な執筆活動を開始、自由民権運動から1900年ころまでを「上からのブルジョア革命」論によって位置づけ、さらに天皇制ファシズムの成立から崩壊までの体系的理解を深めた。開放的な人柄により多くの後進を育てた。

極東裁判決・1948＝47歳：_「親鸞ノート」、

三大事件・・・1949＝48歳：_「近代日本のなりたち」など啓蒙的著述では公式主義にとらわれない発想を展開、「蓮如」には宗門出身者としての晩年の執着が示されている。

独立回復・・・1951＝50歳：_日本近代史研究会を設立して若手研究者の育成につとめ、

マーデー事件・ 1952＝51歳：_法政大学教授に就任。

TV放送始・・・1953＝52歳：_歴史随想「微視の史学」、

自衛隊発足・1954＝53歳：_4年かけて完結した評伝「明治の政治家たち」で毎日出版文化賞を受賞するなど、真価を発揮したが、

55年体制始・1955＝54歳：

国連加盟・・・1956＝55歳：_没した。